



あっぷねす

発行：弘前大学生協本部
 〒036-8224 弘前市文京町1番地
 Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
 2023年10月16日 第158号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。
 弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.158

異文化交流 第2回フィリピンILOILOツアー (英会話講座ACE)

実施日：8月28日(月)～9月2日(土) 参加人数：7名(弘前大学：4名・福島大学：3名)
 説明会：5月10日(水)・13日(土) 学生と保護者様を対象に、対面とオンラインで開催
 出発前ガイダンス：7月7日(金)・8月8日(火) 参加学生を対象に開催(弘前は対面、福島はオンライン)

開催目的

- 「オンライン」から「リアル」で！パソコン画面越しに会った学生に、実際に会いに行こう！
- 環境・貧困・教育等の課題に直に触れて知り、同年代の学生とともに考えよう！

プログラム

4月と7月にオンライン異文化交流を行い、フィリピンの学生とオンラインで繋ぎ「ゴミ山の問題」「スラム街での生活」「フィリピンと日本の食文化」について交流をしました。
 今回のツアーは、オンライン異文化交流でパソコンの画面越しに見た、フィリピンイロイロ市に実際に行き、目だけでなく、体全体で感じ、現地の方々と直接交流をしていくプログラムです。

- DAY1：成田空港を出発し、フィリピンイロイロ市へ
- DAY2：イロイロ市内のショッピングモールへ行き物価調査やインタビュー
- DAY3：ごみ処理場の訪問
- DAY4：貧困課題についてコミュニティ訪問と仕事や生活体験
- DAY5：学校での文化紹介・学生との交流
- DAY6：フィリピンイロイロ市を出発し、成田空港へ



英会話講座ACEの「Online異文化交流inフィリピン」で見たフィリピンの現状を自分の目で見てみたいと思い、このツアーに参加しました。

印象に残っているのはゴミ山です。市内のゴミが集積されているゴミ山の周辺では、ほとんど分別されていないゴミの中から有価物を探し集め、それをジャンクショップに売って得た少ない収入で生活している方々がいます。その一方で、毎日出しているゴミがどのように廃棄されているのかを知らない市民もいるそうです。

フィリピンのゴミ・貧困・教育の問題について考える中で、日本の問題をほとんど知らないことに気付きました。今後は日本の問題について調べ、フィリピンの問題も含めてどうやって改善できるのかを考えていきたいです。

人文社会科学部1年 山田朋佳



集められた有価物



DAY4で訪れた
 (左) ナムコン村の様子 (右) ナムコン村での昼食



5日目の学校訪問 左後ろが山田さん

2023年度 第4回 理事会報告

次回は10月26日(木)予定

協議事項

第1号議案 食堂経営を考える(第62回通常総代会での意見・要望)

現在の食堂事業の理解と食堂経営について、今回と次回の理事会にて協議することになりました。今回の理事会では「食堂経営の理解」「価格とメニュー」をテーマに協議しました。

一度価格が高いというイメージを持つと食堂には行かなくなるので、価格の構造をわかりやすく伝えるなど工夫が必要なのではないか、客数目標をクリアしたら価格やポイントでメリットがあると組合員も関心を持つのではないかという意見がありました。また、衝立がまだあることに違和感があるという意見がある一方で、2~3人で食堂を利用するので衝立がないと気まずい感じがするという意見もありました。

次回も引き続き食堂について協議をします。



食堂事業について話す店長 三浦

議決事項

第2号議案 新学期方針について

第3号議案 時給改定について

第2号・第3号議案については、全会一致で可決承認されました。

新学期方針について話す 新入生サポートセンター長 芹田



■2023年度上半期決算

| 決算の特徴 | 5月新型コロナウイルスが5類に移行したことで出張・旅行需要は回復傾向にあるが、日常的な食堂・コンビニ利用(特に朝・夕)が回復しない。3月新入生サポートセンターの来場者数減による新入生向けPC、ミールや各種講座、自動車学校申込が落ち込み、予算費で1.1億、9.3%の未達となっている。人件費・物件費は予算内で推移しているため事業剰余金は予算を超過しているが、今後も仕入れ原価や物件費(物流費、水光熱費)の高騰に加え、最低賃金上昇による人件費増も予算を超える見込みである。 | | | | | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|----------|--------|--------|
| | 昨年 | 予算 | 実績 | 予算差 | 昨年比 | 予算比 |
| 総供給高 | 1,136,806 | 1,212,454 | 1,099,580 | -112,874 | -3.3% | -9.3% |
| 供給剰余金 | 278,793 | 294,515 | 255,989 | -38,526 | -8.2% | -13.1% |
| 供給剰余率(%) | 24.5% | 24.3% | 23.3% | -1.0% | -25.3% | -24.3% |
| 受取手数料 | 157,197 | 152,753 | 152,872 | 119 | -2.8% | 0.1% |
| 事業総剰余金 | 435,991 | 447,268 | 408,862 | -38,406 | -6.2% | -8.6% |
| 人件費 | 214,910 | 221,361 | 204,580 | -16,781 | -5.2% | -7.6% |
| 物件費 | 156,741 | 158,966 | 136,223 | -22,743 | -13.1% | -14.3% |
| (事業連合委託費) | 29,226 | 29,208 | 25,152 | -4,056 | -13.9% | -13.9% |
| 事業剰余金 | 64,340 | 66,941 | 68,059 | 1,118 | 7.4% | 1.7% |
| 事業外損益 | 2,633 | 0 | 4,815 | 4,815 | 82.9% | - |
| 経常剰余金 | 66,973 | 66,941 | 72,874 | 5,933 | 10.5% | 8.9% |

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

Peace Now ! OKINAWA ①

開催日：9月5日~7日 参加人数：75名(東北地区からは30名)

★Peace Now ! とは…組合員の平和で安全な生活を守るために、大学生協は平和活動に取り組んでいます。

その活動の一つとしてPeace Now ! を開催しています。Peace Now ! では、原爆が投下された広島・長崎、地上戦が行われた沖縄の3か所それぞれを舞台に、全国の学生が集まり、数日間をかけてフィールドワークや戦争体験者の講話、現在世界で抱える問題の学習を通して、戦争や平和について学び考えます。様々な価値観を持った学生同士が「平和」というテーマで深く話し合い交流します。

今回、東北の平和使節団(東北地域の大学生協の学生と職員で構成)としてPeace Now ! OKINAWAに弘前大学生協から2名参加してきました。

平和使節団
目的

- ① 大学生協運動の柱である「よりよき生活と平和のために」をあらためて学ぶ場としての位置づけ。各大学生協・東北ブロック全体での平和運動を促進する。
- ② 生協職員も参加対象とし、生協運動の将来を担う職員の育成の機会とする。

3日間、実際に記念館や平和祈念資料館・平和祈念公園などを訪れ、当時の様子、想いに触れ、私たちが社会を、未来をつくり、つなげていかなければいけないんだと思うとともに、知ること、伝えること、考えること、その“輪”を拡げていくことが大切だと感じました。

グループワークでは静岡、東京、大阪、長崎出身の学生と3日間の想いや平和について意見交流しました。平和活動に限らず大学生協が学生の皆さんが様々なことを考えるきっかけになれるよう職員として関わり、実行していきたいと思えます。



平和公園でのグループ集合写真 一番左が野々村

今後は理事会や学生委員会内、学生総代に向けた報告などを予定しています。組合員に向けた報告書の作成、期間限定ではありますが、見て、知ってもらえるような展示ブースなども計画中です。

医学部店店長 野々村佳織



ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館。ひめゆり学徒隊だった方々が自らつくった資料館です。若い命が戦争によって運命を狂わされ、夢や希望が閉ざされいくつも消えていったことが一人一人のエピソードとともに伝わってきました。

Peace Now ! OKINAWA ②

なぜ沖縄なのか？

78年前日本で唯一の地上戦で多くの一般人が巻き込まれ、現在も残る戦争の跡があります。

過去を語り継ぐのはもちろん、騒音や事故等、未解決問題が現在も残る沖縄は観光や独自文化の発展との対比がより平和とは？ 戦争とは？ を考えさせられました。

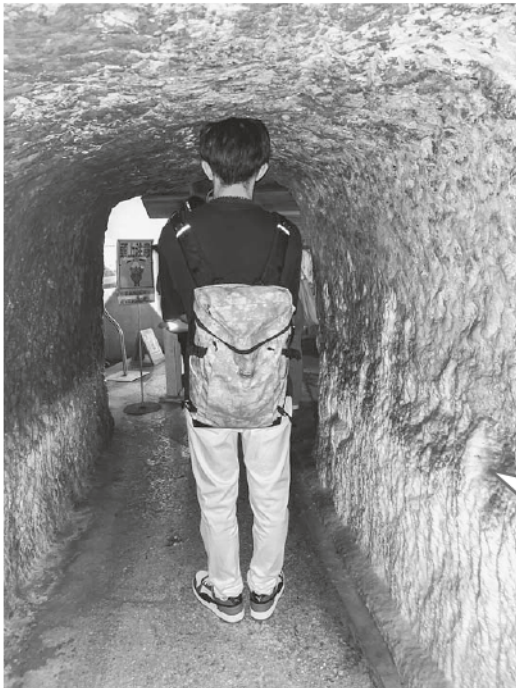
スケジュール

9月4日 直前交流会（東北のみ）琉球王国からの歴史、沖縄戦、基地問題などをあらためて学習→目標宣言

1日目：開会式 学習「沖縄を観る」→対馬丸記念館見学→嘉数高台見学→前田高地陣地見学

2日目：旧海軍司令部壕→ひめゆり平和祈念資料館見学→沖縄県平和祈念資料館・平和祈念公園見学
→GW「オキナワをみて」→問題提起「視野を広げる」

3日目：グループワーク「視野を広げる」「平和とは」閉会式



初めて沖縄へ行き、当時の人々の声や生々しい現実、沖縄という土地を肌で感じることができました。当時の人々がどのような気持ちで資料館を作ったのか、山の少ない沖縄ではどのような戦闘が行われていたのかなど、沖縄へ行ったからこそ知れたことは多くありました。もちろん、解放的な沖縄は自分にとって新しく新鮮で、楽しく過ごすことができました。また、平和とは何か、一緒に沖縄へ行った友達や先輩方と考え、新しい考え方を知ることができました。今後はひとりでも多くの人に、少しでもいいので平和について考えてもらえるように、学んだことを伝えていきたいと思います。

保健学科2年 小野祥太郎

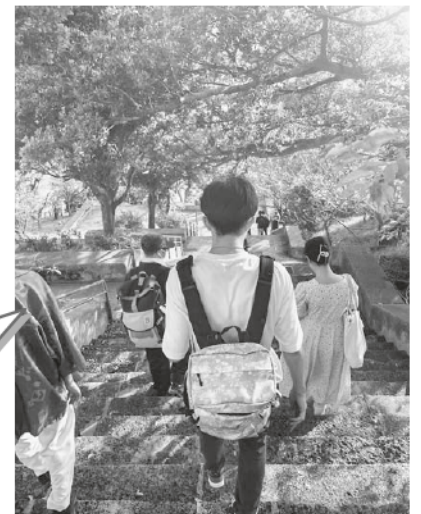
旧海軍司令部壕。山に穴を掘り、一般市民から司令官まで多くの人が壕で生活していました。写真は通路で、自分が通るのにぎりぎりな高さです。

前田高地陣地。階段を下りている写真なのですが、このようにみんなでフィールドワークをしていました。3日間という短い間でしたが、みんな仲よく活動でき、たのしかったです。

1日目の夜ごはんの写真。朝夕はみんなでご飯を食べました。3日間という短い時間でしたが、たくさん話して仲よくなることができました。（右側一番奥が小野）



平和祈念公園「平和の礎」沖縄を中心に、日本付近の世界地図が描かれています。広場の中心にあるこの「平和の火」は広島県の「平和の灯」長崎の「誓いの火」と3つの火をあわせて、沖縄で、沖縄から世界平和を願って燃え続けています。



学生総合共済からのお知らせ

8月のお支払い状況

| | |
|------------|-----|
| 病気入院 | 10件 |
| 病気手術 | 6件 |
| 事故通院 | 9件 |
| こころの早期対応保障 | 4件 |
| 計 | 29件 |

お支払い金額

1,468,000円

たすけあいアンケートより

「今回初めて共済のお世話になりましたが、とても安心して今後の学生生活を送れると思っています。」
 (アルバイト中の事故
 アルバイト中に熱湯の入った釜で右手をやけどした。
 通院8日 共済金16,000円)

*G1200コース加入者のお支払い件数を掲載しています。



おかえりなさいキャンペーン (学生委員会)

開催日時：10月2日(月)～6日(金) 昼休み時間帯 場所：食堂Horest内



「おかえりなさいキャンペーン」は夏休み中の帰省や旅行で病院にかかっていたときの給付申請忘れを無くするために行う予防提案活動です。お渡ししている案内では「相談窓口」の他、「学生生活無料健康相談テレホン」や「共済マイページ」について記載しています。

健康で安心な大学生生活を送れるように自分のからだを知ること、予防すること、しっかり食べて体を休ませることなどをいつも以上に伝えていきます。

【相談窓口】文京町地区：たびshop 本町地区：FERIO

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、日中はまだ夏日になる日もあり、今年ほど秋が待ち遠しい年はなかったです。(※これを書いているのは9月末)

毎年後期が始まる頃、学祭ののぼりがたち始め秋を感じ、同時に春までの密度の濃い時間が始まることを思い出します。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから初めての学祭。今年は出店があるのでしょうか。毎年昼食の楽しみだったので今からワクワクしています。

(SHIMO)

